

- ▶ 国保料1人1万円引下げ、ごみ袋代の値下げを
- ▶ 市民参加と情報公開で市政をガツアツに
- ▶ 保育園・児童保育所の待機児をゼロに
- ▶ 特養ホームの増設など安心できる介護体制を
- ▶ 地元中小企業と労働者を守る公契約条例の制定を

- ▶ 学校給食の無償化、ランドセル・制服代への補助を
- ▶ 二小・五小・八小の自校調理方式存続
- ▶ 「安全でおいしい」中学校給食の一日も早い実現
- ▶ 都市計画道路立3・30号線の見直しを
- ▶ 憲法9条改悪・消費税増税ストップ

市議団基本政策 **なにより命と暮らしを守る市政実現のためにがんばります。**

日本共産党市議団は、「市政アップデート」を取り組むなど、皆さんの声を市政に反映させるために努力してきました。そして、国保料の引き下げ(2016年度)や都有地を活用した特養ホームの建設を実現できました。5人が力を合わせるからこそ、切実な要求が実現できます。



日本共産党

日本共産党の5人でこそ実現できます

市民の暮らし最優先の 立川市政実現のために

上條彰一  

憲法9条を守りぬき 暮らしを守る先頭に

日本共産党 立川市議8期

上條 彰一

かみじょう
しょういち

Profile 1956年、長野県塩尻市生まれ。中央大学法学部卒。立川相互病院で働く。1986年から市議連続8期。全ての常任委員会を経験し、都市計画審議会委員や農業委員なども歴任。現在、党市議団長、市議会総務委員長。趣味▶園芸 家族▶妻と2女1男

活動地域 栄町・高松町・曙町・緑町

連絡先 栄町4-45-35 ☎/FAX:042-535-8016
携帯:090-8463-0297



STOP 憲法改悪

安倍首相は憲法9条を改悪しようとしています。暮らし破壊の消費税増税や社会保障の改悪を進めています。立川市政も、国保料や介護保険料、保育料などを値上げし、市民サービスを切り捨てています。若葉町の小学校の統廃合に続き、公共施設の廃止・統合を計画しています。侵略戦争に命がけで反対した日本共産党の議員として、憲法9条を守り、市民の命と暮らしを守るために働かせてください。

視点はいつも市民に 命と暮らしを守る政治を

国保料値上げ徹底追及し、値下げ実現

「日本を再び『戦争する国』にしてはならない。世界に誇る9条を守ろう」。9条改悪をストップする宣伝や集会、デモの先頭に。社会保障の改悪など、悪政による暮らしへの影響を知らせ、議会で追及。国保料値上げでは、「国保は社会保障であり、値上げは命と健康を破壊する」と追及。2016年度には1人1,560円の引下げを実現しました。



駅前で「なんでも相談村」29回、夜回り7年続ける



貧困と格差は広がる一方です。日々の生活相談では、市民の暮らしの厳しさを実感します。そんな中、弁護士さんやお医者さんなど様々な専門家が力を合わせ、「立川なんでも相談村」を立ち上げ、7年間で29回の相談会や毎月の夜回りを行い、350人以上の相談を受け、支援。「命を救われた」という人も。生活保護切り捨てに反対するとともに、毎年250人前後の児童・生徒が就学援助を継続できるようにしてきました。

5年間で学校へのクーラー設置144教室に

夏の酷暑の中で、「暑くて勉強ができない」「熱中症が心配」との声を紹介し、普通教室に続いて、「特別教室へのクーラー設置を一刻も早く」と要求。4年前、170教室あった未設置教室は、新年度で残り26教室に。トイレなどの施設や設備の改修にも力を尽くし、教育負担の軽減では給食費の無償化や高校生の返済不要の奨学金の創設なども要求しました。



市議会の税金での飲食ついにやめさせる



政務活動費が「会費」「参加費」として、年間90万円以上も飲み食いに使われている問題を追及。「三多摩の自治体では例がない」ことや「裁判で違法と判決がでている」ことを指摘し、「こうした使い方はやめるべき」とくりかえし追及。昨年11月、ついに「支出の対象としない」と改善させました。これからも市政と議会の改革に全力をあげます。

日本共産党
上條 彰一
かみじょう しょういち

「弱い立場の人に
寄り添い命を守る」
——私の原点です

立川相互病院に働き、患者会などを支援する活動に参加。自ら重い病気を抱えて、献身的に活動する患者さんの姿を見て、「自分も恥ずかしくない生き方をしたい」と、命や暮らし切り捨ての政治を変えるために、体をはって活動してきました。

